



我が国循環産業の戦略的国際展開による海外でのCO₂削減支援事業

平成30年度予算(案)
253百万円(230百万円)

背景・目的

アジア諸国を中心に、世界の廃棄物の量が急増し、喫緊の課題になっている。他方で、大量に発生する廃棄物はエネルギーを生む重要な資源であり、資源循環と気候変動の統合的取組の必要性がG7や循環基本計画等において指摘されている。2016年に発効した「パリ協定」等を踏まえれば、廃棄物分野における徹底的な気候変動政策の推進が不可避となっている。

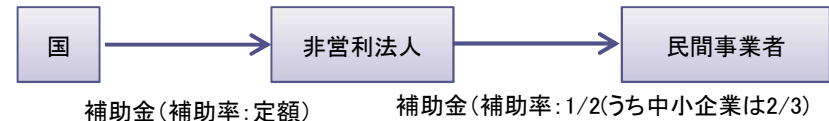
こうした状況を踏まえ、本事業では、技術や経験を有する我が国の循環産業の国際展開を後押しすることにより、アジア諸国等でのCO₂の大幅削減と廃棄物処理に貢献する。(※日本再興戦略やインフラ輸出戦略にも記載)

事業概要

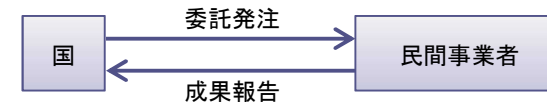
- I. 循環産業国際展開モデルの構築(補助) 203百万円(230百万円)
先進的な廃棄物発電事業の国際展開の実現可能性調査等について、廃棄物分野の二国間協力や自治体間連携、温対法排出抑制等指針、CO₂削減効果等を考慮しつつ、補助を実施。
- II. 循環産業国際展開モデルの拡大支援(委託) 50百万円(新規)
新たな廃棄物発電事業の実施に当たり、発電効率や安定性等の質の高さが確実に評価されるよう、アジアの1ヶ国を選定した上で、発注や契約に関するノウハウを持った支援機関を当該国へ派遣し、優れた廃棄物発電事業の拡大を支援することで、CO₂の更なる削減に貢献

事業スキーム

I. 循環産業国際展開モデルの構築(補助)



II. 循環産業国際展開モデルの拡大支援(委託)



事業期間: H30年度~H32年度

期待される効果

- 2030年度(平成42年度)までに6件の事業化等により、8.3万tCO₂/年(2030年度時点)削減。
- 国際展開経験が少ない我が国循環産業の国際展開を後押しし、途上国の廃棄物問題を解決・我が国経済に貢献。

事業イメージ

案件発掘

案件形成

事業化

発注・契約制度構築支援

(H26~28)
循環産業の国際展開に係る
海外でのCO₂削減に向けた実証支援事業

(H29~)我が国循環産業の戦略的国際展開による
海外でのCO₂削減支援事業(FS等)

事業実施

資金調達
政府関係機関
国際開発金融機関
JCM
等

(H30~)我が国循環産業の戦略的国際展開による
海外でのCO₂削減支援事業(発注・契約制度構築支援)

国際事業展開
モデル確立

- ・ 2030年度までに6事業化等
- ・ モデルを利用した事業拡大

廃棄物・リサイクル政策との連携によるパッケージでの支援(他予算も活用)

